

平成29年度
天然アユ生態調査実行委員会

事業計画書

平成29年4月

I 事業目的

本調査は天然アユの生息上の問題点を抽出したうえで、生息環境の改善に向けた保全対策を検討することを目的とする。

II 調査内容

1 アーマーコート化の解消によるアユのなわばり行動回復の試み (ソジバ再生実験)

1) 調査の概要

- ・阿摺ダム下流の瀬において、矢作ダムに堆積した礫を敷設してアーマーコート化する以前の柔らかな河床を造成
- ・アユ、アユの餌の付着藻類その他の底生生物の変化を追跡
- ・規模の大きな出水があった場合には、礫の動きを追跡
- ・礫が転がって河床をクレンジングすることによるアユ等への効果を把握

2) 期待される成果

- ・方法の妥当性を確認

3) 予算 250万円

内訳：礫の運搬	150万円（手数料）
調査補助委託	70万円（委託料）
その他	30万円

2 矢作川産天然アユの産卵環境改善

1) 調査の概要

- ・河口から10～20kmの複数地点で流下するアユ仔魚を採集
- ・下流方向へのアユ仔魚の大幅な減少が生じるかを確認
- ・減少の要因を、藤井床固による滞留、同床固での落下衝撃、矢作古川への取り込み等の点から検討

2) 期待される成果

矢作川で流下仔魚の数が少ない原因の一つが解明できる

3) 予算 60万円

内訳：現地作業とサンプル処理	40万円（賃金）
その他	20万円

3 アユの遡上調査

1) 調査の概要

- ・ 明治用水頭首工において4月より7月にかけてアユの遡上数を観測する
- ・ 調査は目視および自動記録装置による計数によって実施する
- ・ アユのサイズを把握するため、調査期間中、10日に1回、30尾を採捕
- ・ 機器の調整は専門業者への委託業務とする

2) 期待される成果

- ・ 矢作川中流域における天然アユの遡上数を把握
- ・ 天然アユの数が変動する要因を検討する材料となる
- ・ アユの生息環境の改善事業の効果を把握するための基礎情報となる
- ・ 市民へ「天然アユが生息する矢作川」をPRできる

3) 予算 140万円

内訳：自動計数装置委託	90万円（委託料）
現地作業	30万円（賃金）
その他	20万円